



景観まちづくりは まち「だから」！

学ぼう！探そう！考えよう！ 町田の景観

Machida city Landscape making
citizen supporters
ACTIVITY REPORT



👉 景観ってナニ??

👉 町田の景観を掘り下げる
「見る」から「発見」の場づくり

次世代に残したい町田市の
景観を探して

町田をくりぬく！！

👉 特別座談会
町田の景観について語り合う

👉 みんなのひとこと

景観ってナニ??

「景観」という言葉にピン！ときますか？
「風景」や「景色」という言葉は、よく耳にしますよね。
でも、景観というと少し専門用語のように聞こえてしまい、難しい印象を与えています。

改めて、「景観」とは、何でしょうか？
簡単にいうと、美しい「風景」や「景色」に加え、それを守り・育むために活動している人も含めて「景観」といいます。

町田市では、市内の素敵な景観を市民の皆様に知っていただくため、市民ボランティアの「町田市景観づくり市民サポーター」に2014年度から3年の任期で活動していただきました。その成果を本誌としてまとめています。

タイトルにある「学ぼう！探そう！考えよう！」には、「学ぶ」「探す」「考える」というテーマのもと、イベントを通じて景観づくりを学んだり、まち歩きによる景観探しや新しい角度から景観について考えてきたサポーターさん達の3年間の思い出を込めました。

もし、そんな活動を楽しそう！と感じた方は、ぜひサポーターさん達のお仲間になりませんか？

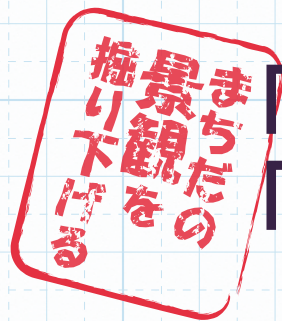
でも、サポーターでなくても身近な取り組みから地域の景観づくりを楽しむことだってできるんです。

景観づくりについて分からないことがあれば、ぜひ市役所の地区街づくり課へお話しください。

一緒に町田の魅力をアップさせ、地域への誇り、地域への愛を育みましょう。

もくじ

1. 景観ってナニ??…1
2. 町田の景観を掘り下げる
 - ・「見る」から「発見」の場づくり－学びグループ…2～11
 - ・「次世代に残したい町田市の景観を探して－探すグループ…12～21
 - ・町田をくりぬく！！－考えるグループ…22～31
3. 特別座談会 町田の景観について語り合う…32～36
4. みんなのよせがき…37～38



「見る」から「発見」の景観づくり

 学びグループ

様々な手法で、景観について学びの場を提供する

第1期景観市民サポーター「学び」グループの活動は、講師による基調講演と複数のパネリストによるディスカッションなど、講演会型の「学びの場」の提供が主体でした。その際、参加者の意見として、参加者自身の意見交換をより取り入れても良いのではないかと指摘もありました。

そこで第2期では、市民が実際に体験し、発見しながら景観について語り合う、「参加型の学びの場づくり」を目指しました。固定した方式にとらわれず、様々な手法で催しを開催しました。

①2014年度：まち歩きによる体験型講座を実践する

2014年度末（2015年3月）、町田市市の中心市街地を対象に、屋外広告物と景観をテーマに「魅力的な屋外広告物とは？ ～見つける楽しさ、始めるヨロコビ～」と題して、まち歩きと意見交換の催しを開催しました。

多摩美術大学の協力を得て、普段余り意識することのない屋外広告物に注目し、実際に見て語り合うという、充実した「発見の場」となりました。

②2015年度：住宅地のまちづくりの取り組みを知り、歩いて体験する

2015年度末（2016年3月）、第1回景観賞の受賞地域である三輪緑山住宅地を舞台に、これまでの取り組みを学び、グループに分かれてまち歩きを行いました。その後、参加者相互に意見交換を行いました。

三輪緑山住宅地管理組合の全面的協力を得て、関係者も含め50人程の参加者は、三輪緑山の住環境の維持と管理の実際を知り、その成果や課題などを知ることができました。

③2016年度：埋もれた景観を紹介し、発信する

2016年度は、12月4日に町田市主催で開催された「まちカフェ」参加の一員として、パネルを制作し、参加しました。

必ずしも市民に広く知られているとはいえない「尾根緑道」の景観の素晴らしさを、十数枚の写真によってパネルを制作し、展示しました。

当日は、多くの人々の眼に触れ、質問もいただくなど、尾根緑道への関心を喚起することができました。



2014年度
町田中心市街地のまち歩き



2015年度
三輪緑山住宅地



2016年度
尾根緑道（展望広場から見る菜の花と桜の景色）

①まち歩きによる体験型講座の実践 まちだ景観ワークショップ2014

屋外広告物と景観

「学びグループ」としては、どちらかというと景観上、屋外広告というあまり強いイメージがありませんでしたが、しかし都市においては必要不可欠のものと考え、その屋外広告物の役割、景観としてのとらえ方を学ぶことにいたしました。

多摩美大名誉教授の田口先生による『魅力的な屋外広告物とは何か』というテーマで講義をしていただいてから、グループに分かれて町田市中心市街地を歩き、その後グループ単位で意見交換し、意見発表会を行いました。

まち歩きでは、5つのグループに分かれ3つのエリアを、案内の説明を受けながら学生、サポーター、市民参加者が、雨天の中一緒に歩き、その結果を下記のようにまとめました。



グループ別まち歩きの感想

A

良い広告物は、建物とセットで土地柄や歴史を踏まえて景観に配慮したデザインにしているものが多いと感じました。

(原町田3丁目・4丁目商店街エリア)

C

良い広告物にするためには看板のデザインだけでなく建物や周囲の環境なども重要だと思います。

(森野・中町・原町田6丁目商店街エリア)

B

デザインについては統一性の重要さが意見として出ました。全体的に、デザインそのものよりもまちづくりと絡めて考える意見が多くありました。

広告物のデザインだけでなく、町田の中心市街地を特徴付ける「雑多な文化」を育てていく必要もあるのかもしれない。

(大規模商業施設エリア)

D

広告物は建物だけでなく町全体のイメージに影響してくるので、町全体で広告物について考えていくべきだと思います。

(森野・中町・原町田6丁目商店街エリア)

E

広告物の情報量が多いと感じました。

良い広告物として機能するためには情報量を絞るべきではと感じました。

また、中心市街地は広告物、サインが判り難いという印象を受けました。

(原町田3丁目・4丁目商店街エリア)

まとめ

田口先生の全体講評

参加者の多くが町田の中心市街地に対して「視覚的ノイズ」を感じているものの、それを町田の空気として前向きに捉えていることが印象深かったです。



こんな感想や意見が
でした

商業地域における景観の大きな要素を占める屋外広告物を観察し魅力的に感じたもの、どうしたら良い景観づくりを形成することができるか考えるべきだと思いました。

普段景観としてあまり注目されていなかった屋外広告物を歴史的、デザイン上等の違った目線から見直すことができました。

町田ができあがった江戸時代からの経緯を学び、絹の道と商店街、その屋外広告の役割をしているものについて知ることができました。

屋外広告物のデザインは、広告本来の目的を果たしながら、周辺景観との調和を図る設置方法・場所の配慮・大きさ・形状・色彩・表示内容に配慮し、その手法を持たなければならないと思います。



中心市街地のまち歩き風景



田口先生の講演風景



意見交換の風景

②住宅地のまちづくりの仕組みを知り、歩いて体験する 現地で学ぶ景観ぐるっとまち歩き

みんなで企画し、語り合ったまち歩きイベント

春まだ浅い寒さの残る日でしたが、公募によって43人の方々が参加され、熱心に取り組まれました。

三輪緑山住宅地管理組合から、街の維持・管理を中心にこれまでの取り組みについてレクチャーを受け、その後、4グループに分かれ管理組合理事の方々の案内のもと、1時間程度のまち歩きをしました。

その後、会場（三輪コミュニティセンター）に戻って幅広い意見交換を行いました。

プログラム

①三輪緑山住宅地と管理組合の紹介

紹介：吉村管理組合理事長

- ・まち歩きルートの開設と実施方法について解説

解説：秋山副理事長

②まち歩き：4グループ編成で実施

- ・まち歩きマップをもとに、各グループ2名の管理組合理事がガイドとサポート

③シンポジウム：三輪コミュニティセンターにもどり、グループディスカッション

- ・コーディネーターの司会で意見交換

コーディネーター：（株）アルテップ 佐野雄二氏

補助：（有）大戸まちづくり研究所 大戸徹氏



企画のポイント

このイベントでは地域の景観まちづくりに注目しました。
そこでメンバーの住む地域で活動している団体に協力を得て、開催することができました。

参加者：市民参加者43名

主催スタッフ（学びグループ）6名

事務局（市職員）5名

コーディネーター2名

三輪緑山住宅地のこれまでの取り組みを理解する

「三輪緑山が、30 年間、より良い住環境を育て維持するために、どのような活動をしてきたかを学ぶ」ことをテーマに、映像（パワーポイント）をつかい、管理組合理事長よりおおよそ次のような説明がありました。

①1985 年 3 月 三輪緑山管理組合を設立

戸建て専用住宅地内に建築したものが全加入

→なぜ？

管理組合加入が入居の条件とすることで、良好な住宅地の形成・保全を目指すために

②テレビ共視聴施設の設置

→個別にテレビアンテナを立てないようにする

③宅地内グリーンベルトの維持管理

④理事長以下 10 名の理事・監事により運営

結果

優良な受託地の維持・向上が認められ、

- ・ 第 2 回 全国住まいの街並みコンクール
国土交通大臣賞受賞
- ・ 第 1 回 町田市景観賞
まち並み景観部門賞受賞

三輪緑山住宅地 まちづくり年表

1985 年	「鶴川緑山管理組合」設立 (野村不動産寄りの委託業務) ※のちに「三輪緑山管理組合」となる
1990 年	当地区が公共下水道地区になり、 污水処業務を町田市に移管
1996 年	野村不動産からの委託管理から、 組合員（住民）自主管理へ移行
1998 年	2011 年のテレビデジタル化のため、 「共視聴施設更新委員会」設置
2001 年	モニュメント管理に関し町田市と協定
2004 年	環境緑化貢献で、町田市長感謝状 東京都から功労表彰
2006 年	・ 共視聴施設デジタル化更新工事完成 ・ 「第 2 回全国住まいのまちなみコン クール」国土交通大臣賞受賞
2009 年	広報紙「みどりの街角通信」発刊
2011 年	管理組合設立 25 周年記念講演会開催
2014 年	町田市第 1 回景観賞 まち並み景観部門賞第 1 位受賞
2015 年	(3 月末現在：組合員数 1,128 名)



まち歩き

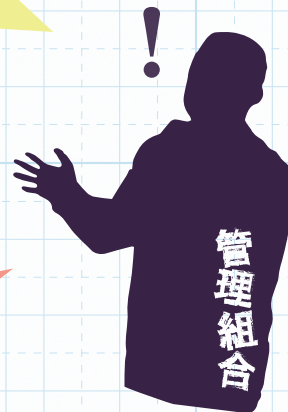
－グループに分かれてのまち歩きと管理組合による案内－

まち歩きで聞いた三輪緑山のポイント

- ① 4本の並木道が縦横に走り、自動車と歩行者を分離し、広い公園と緑地が四季折々に姿を変えます。
- ② メインストリートからは電柱が見えず、住宅地内はテレビアンテナが見えません（ケーブル配信）。
- ③ 街が生まれて30年、「景観を人とみどりが守る街」を掲げ、垣・柵を生垣に統一したグリーンベルトが街を彩ります。
- ④ 三輪緑山管理組合が中心となり、美しい街並みを徹底、維持・管理を行っています。

三輪緑山に住む方々の30年にわたる管理活動は、市民（住民）主役の街づくりの実践の賜物です。

これからは、住民の高齢化が進む中で、一人住まい、空き家対策などの課題への対応が重要となるでしょう。



グリーンベルト（サツキ）：管理組合で管理



まち歩き



電柱のない街並み

管理組合が用意した「まち歩きマップ」(参加者へ配布)

資料1 街あるきのマップ

- ⑬沢谷戸公園
- ・自然公園
 - ・四季折々の花
 - ・子供遊具
 - ・自然湧水

- ⑫はなみずき通り
- ・樹木景観
 - ・グリーンベルト
 - ・緑地

- ⑪中央公園内
- ・災害時給水施設

- ⑩三丁目住宅内
- ・グリーンベルト
 - ・ボンエルフ
 - ・スポーツ広場

- ⑨二丁目けやき通り
- ・けやき通り景観

- ⑧コミュニティパーク
- ・一時避難場所
 - ・災害備蓄

- ⑦二丁目住宅内
- ・進入道路ハンプ
 - ・グリーンベルト
 - ・ボンエルフ

三輪緑山住宅 街あるきのコースとポイント



- ゆりのき通り 東西主要道路(鶴川駅からの導入道路)入口にモニュメントとゆりのき公園(遺跡)
- けやき通り 東西主要道路(西に139号線に接続、東は三輪に抜ける地域道路) けやき並木の景観
- さくら通り 南北主要道路(中央公園～南側:住宅中心地域と二丁目を通る)二丁目八重桜の景観
- 花水木通 南北主要道路(中央公園～北側:中央公園から四丁目方向へ通る)

- ①かえで通り説明
- ・進入道路のハンプ
 - ・グリーンベルト
 - ・生垣・シンボルツリー

- ②ゆりのき通り
- ・電柱のない景観
 - ・進入道路のハンプ
 - ・けやき公園
 - ・ゆりのき公園と遺跡

- ③一丁目住宅内
- ・進入道路のハンプ
 - ・グリーンベルトの景観
 - ・ボンエルフ

- ④さくら通り
- ・商業地区
 - ・スポーツ広場
 - ・グルメシティ
 - ・ZIPスポーツクラブ
 - ・集合住宅
 - ・自治会館 ★
 - ・管理組合 ★

- ⑤けやき通り交差点
- ・クリーンセンター
 - ・緑山球場
 - ・けやき通り景観
 - ・広いグリーンベルト

- ⑥二丁目さくら通り
- ・さくら通り公園
 - ・子供の国
 - ・緑山スタジオ
 - ・八重桜並木

けやき通りの四季



春



夏



秋

まち歩きの結果を語り合う

歩いた後は、三輪コミュニティセンターでシンポジウムが開催されました。

各班から出た意見や感想、質問

- ・各戸のシンボルツリー、グリーンベルトや街路樹の管理に関わること
- ・管理組合や自治会への加入状況について
- ・他の街とも共通する問題としての空き家対策について
- ・玄関のアプローチの階段や駐車場など、高齢化や介護に関わること

管理組合の回答（一部抜粋）

- ・三輪緑山管理組合の加入率は100パーセント。自治会の加入は任意で80パーセントぐらいが加入しています。開発と販売の経緯がことなる4丁目には管理組合はありません。
- ・シンボルツリーには八種類の木が植えられており、各個人の管理です。
- ・グリーンベルトは管理組合が管理し4万本のサツキが植えられていて、7～800本が毎年植え替えられています。



まち歩き後の意見交換

管理組合と参加者の討議

質疑応答のほか、管理組合から次のようなことが課題となっていることが出されました。

高齢化が進むことにより、一人住まい、庭木の手入れができなくなることで、管理組合のなり手が限られてくることなどの問題があります。

新しい住民には地域への愛着の低下という問題があります。

1120軒の中で65軒～70軒の空き家があり、管理組合と自治会の共同で、樹木管理の依頼、斡旋などの取り組みをしています。

上記を受けて、意見交換の場では、

- ①同じ鶴川地区の平和台では空き家対策管理要綱を作成している
- ②空き家対策については、他の団地についても高齢化を考えると、短期的には駐車場の確保など介護のための対策、地区計画の用途規制の緩和等を検討する必要がある。
- ③若者の定住を促す施策も考える必要があり、子育て環境を整えることも大切である。

といった議論が交わされ、まちづくりの考えや取り組みについて共有することができました。

埋もれた景観を紹介し、発信する 尾根緑道とその周辺

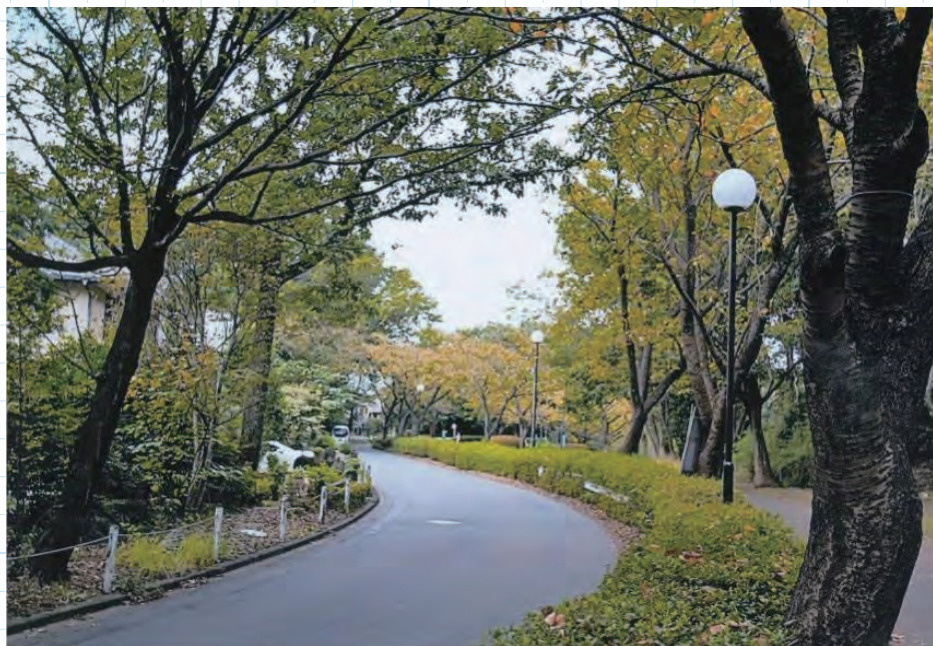
本年度学びグループは、桜まつりでは知られている「尾根緑道の景観」を掘り下げて見た素晴らしさを、メンバーと共に歩き「風情・景観」を探し、町田市主催「まちカフェ」にて紹介し発信をしました。

尾根緑道の魅力その1(忘れられた道：戦車道路～平和緑道路)

尾根緑道は、町田市内を東西に走る多摩丘陵と相模台地の尾根稜線上の緑道。かつて相模原にあった陸軍造兵廠で製造された戦車の「テストコース」として1943年頃築造された道路で、戦後、防衛庁が1965年頃まで装甲車などの走行試験に使用していました。

これを町田市が国から借り受け、「平和な散策の緑道」として、桜をはじめ様々な花木を道沿いに植え、市民の憩いの場として名称を「尾根緑道」に改め開放されました。

現在尾根緑道として開放されている区間は、桜美林大学の北方・下小山田町の尾根緑道入口バス停付近から、小山が丘の小山内裏公園内にかけ約10Km 緑道が続きます。



魅力その1：上常盤・林内休憩所周辺の桜並木と遊歩道



魅力その1：上小山田種入周辺のケヤキ並木と遊歩道



魅力その1：リサイクル文化センターより北側を見る 豊かな緑と自然の里山風情の小山田荘

尾根緑道の魅力その2 (風景・風情の景観)

多摩丘陵の尾根道としての尾根緑道は、地形が開放的で展望がよく、北側は平安時代末に小山田有重が馬牧経営と開墾によって開発した小山田荘、今なお里山の風情が残り「豊かな緑と自然、のびやかな田園風景、里道に息づく生活風情」の歴史・風情の景観。南側は相模の国、相模台地の都市化した街並。その背景には、丹沢山麓・富士山のパノラマを四季としての風景が見られます。

尾根緑道の魅力その3 (四季・時間の景観)

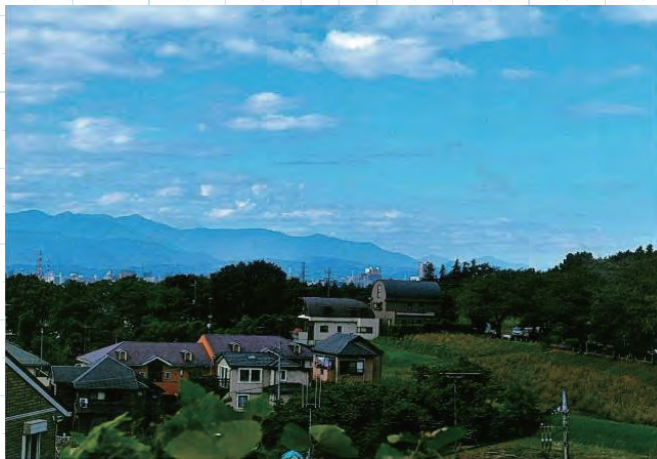
尾根緑道は、東ゾーンに品種が多い桜並木、西ゾーンにケヤキ並木、その他各種の「花木・草花・野草」等が多く、緑道に隣接する緑地公園・雑木林、さらには尾根緑道北側の展望には、「自然豊かな里山の風情・田園風景」南側は、「丹沢山麓」の背景を春夏秋冬の四季としての「季節の景観」又、朝・昼・夕の「時間帯の景観」を楽しめます。

尾根緑道の魅力その4 (健康と景観)

尾根緑道は、健康と自然景観に触れ合うところとして、ハイキング・ウォーキング・ジョギング・サイクリング「健康回復のリハビリ」及び「子どもが自然に触れる場」、「写真・スケッチ」など多様な人に利用され、まさに健康と景観の結びつきが魅力です。



魅力その2：桜美林教会・展望広場から見る
尾根緑道周辺と丹沢山麓の展望



魅力その3：展望広場から見る尾根緑道と丹沢山麓の冬景色



魅力その3：上小山田種入周辺・里山に広がる紅葉の秋景色



魅力その1：上常盤・林内休憩所周辺の桜並木と遊歩道



魅力その4：展望広場周辺の遊歩道を
ジョギング

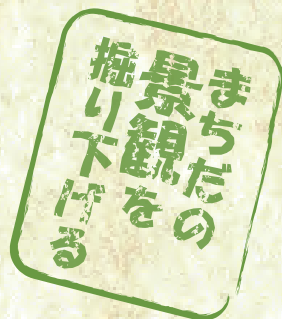


魅力その4：尾根緑道で自然と触れ合う
子どもたち

（景観サポーター学びグループから一言）

今回の景観探索は、尾根緑道近くに昔からお住まいの方々、尾根緑道及び周辺に関する資料等を参照し、上紀の1～4の魅力を感じました。又、「西ゾーンのケヤキ並木区間」は、町田市と周辺住民参加による整備検討会を経て整備される予定です。

尾根緑道はまさに将来に残したい町田市の貴重な財産であり、今後、周辺の「緑地保全と都市開発」に関し変貌する中で、自然環境との調和がとれた景観保全を望みます。



次世代に残したい 町田市の景観を探して



町田市は、西部エリア、北部エリア及び三輪エリアに、広大な樹林地・農耕地などの里山が広がっています。

探すグループでは、この自然環境をテーマとして探索しました。各エリアそれぞれ異なった顔や味わいがあり、目新しい景色の発見や感動がありました。

この冊子では、味わいの異なる4地区を歩いた結果を選定しています。

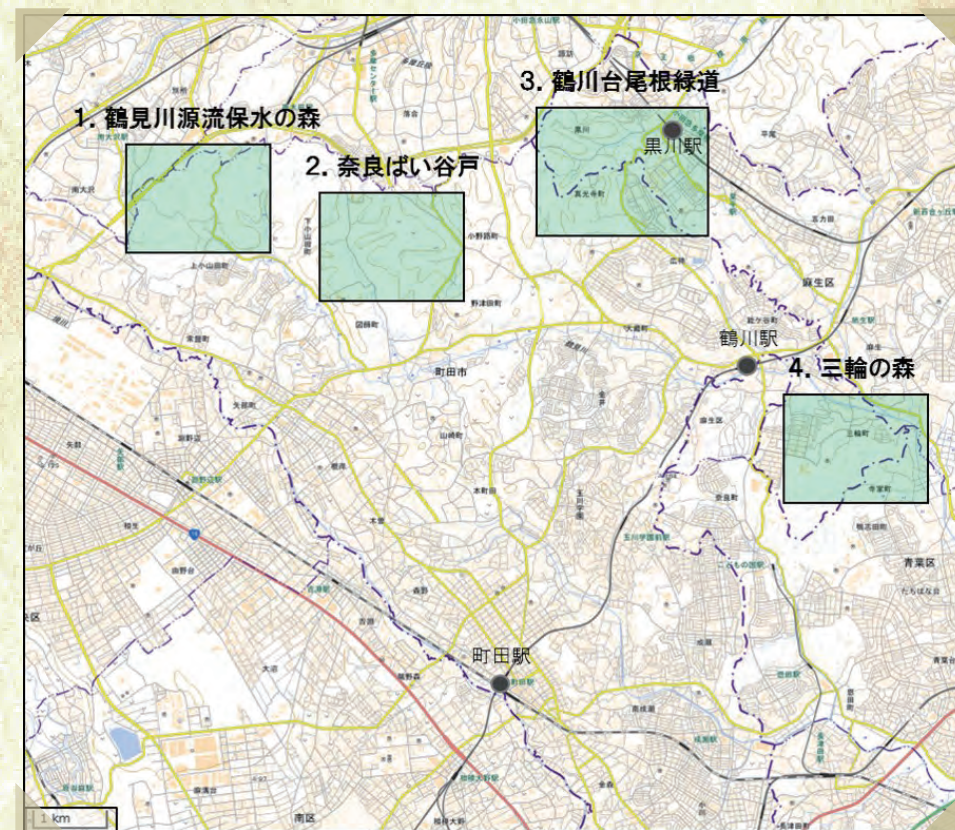
1. 鶴見川源流保水の森（上小山田町）
2. 奈良ばい谷戸（小野路町）
3. 鶴川台尾根緑道（真光寺町）
4. 三輪の森（三輪町）

また、里山散策は、季節ごとの山野草観察も魅力の一つですので、その素敵な花々のいくつかについてもご紹介します。

町田市内の探索にはこちらのマップ利用が便利です（無料）

- ① 相原観光エリアマップ
- ② 小山・小山ヶ丘・小山田地区観光エリアマップ
- ③ 薬師池／七国山観光エリアマップ
- ④ 鶴川・三輪・玉川学園地区観光エリアマップ
- ⑤ 町田まちなか案内マップ
- ⑥ 町田市観光マップ

（配布場所）町田ツーリストギャラリー
町田市原町田 4-10-20 ぽっぽ町田 1 階
（発行）町田市観光コンベンション協会



※p12, 14, 16, 18, 20 に国土地理院の電子国土基本図（地図情報）を掲載



鶴

見川源流保水の森 (上小山田町)

**好天に恵まれた一日を
のんびり楽しみたい道**

バスを降りると市街地から遥かに来た印象が強く、森も迫り、ここは町田？と思わせる里山風景が広がっています。

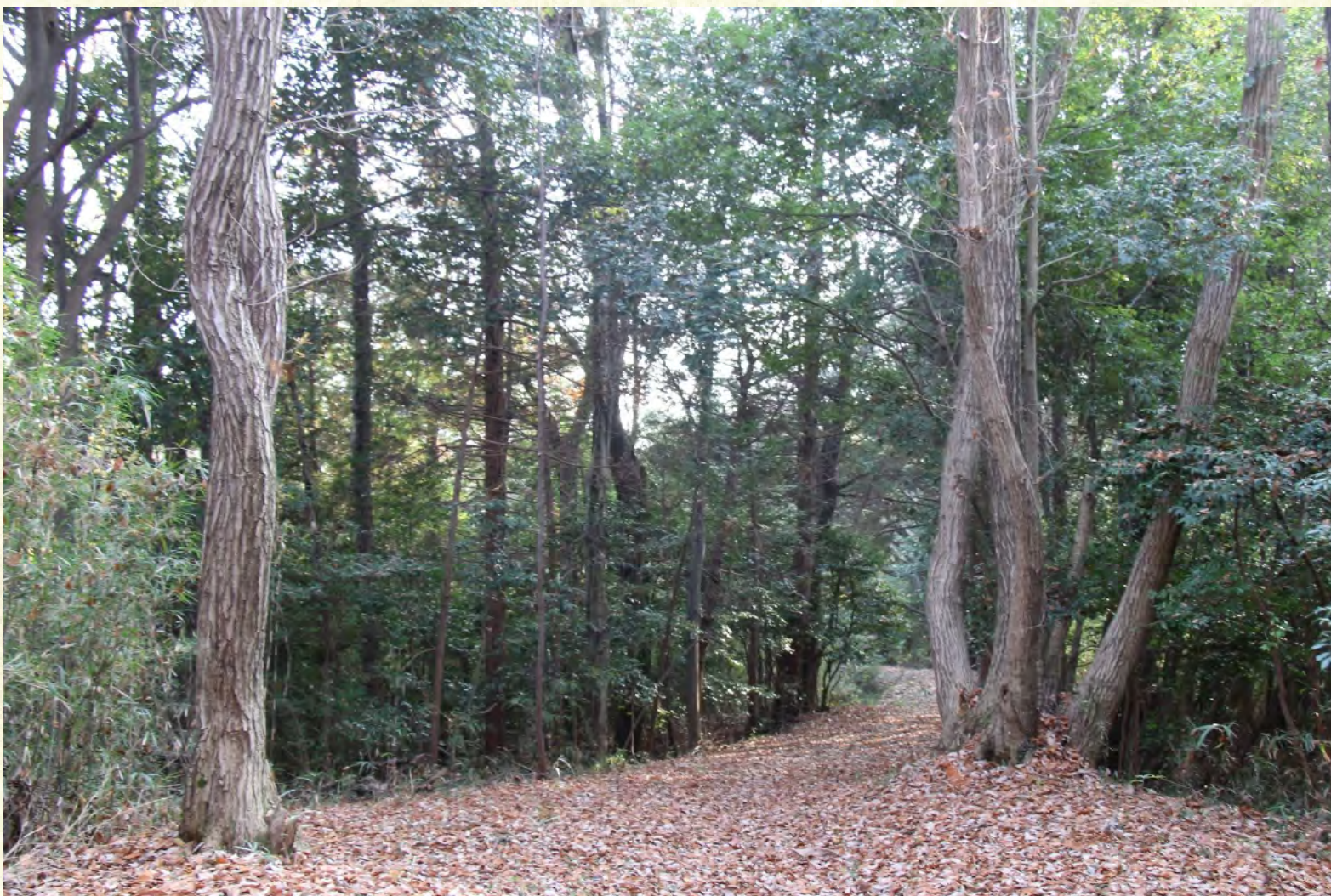
浄土真宗正山寺に参詣して遠望を楽しみながら雑木林を下ると、小川の流れと昭和のブランド野菜「小山田三つ葉」栽培のむろ跡を発見。
のどかな山里でケーキ用パンプキンも栽培されていて楽しくなる。

森に入ると明るい林道を一周でき、森林浴が楽しめる素敵な散歩道。市民ボランティアの手で整備が進んでいます。

帰途、民家の植え込みが何故か輝いていたのは、源流の水質のせいかしら、と感じた優しい道です。

《交通・バス》

町田バスセンター12番のりば発（小山田行）
⇒終点下車



① 鶴見川最上流部の原生樹林 鶴見川最初の一滴はこの森から湧出します。



② のどかな里山風景



③ 樹林



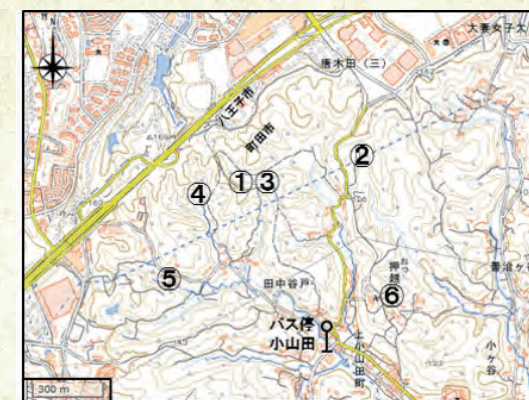
④ 源流付近



⑤ 昭和のブランド野菜「小山田三つ葉」
栽培のむろ跡



⑥ 浄土真宗 正山寺



位置図



奈

良ばい谷戸 (小野路町)

懐かしい里山と竹林の道

車道から一步谷戸へ足を踏み入れると田園風景が広がっています。

永年耕作放棄され荒れ果てた田んぼや畑を、市民ボランティアの人たちが楽しみながら野良仕事をして、昔ながらのこの風景を復元したのです。

春には水田がキラキラ輝き、秋には黄金色の稲穂が揺れイナゴや赤トンボが飛びかっています。

梅林あり、炭焼き小屋あり、ベンチあり、獅子脅しの仕掛けもあり、現代の桃源郷です。南の急階段の奥には美しい竹林も広がっています。

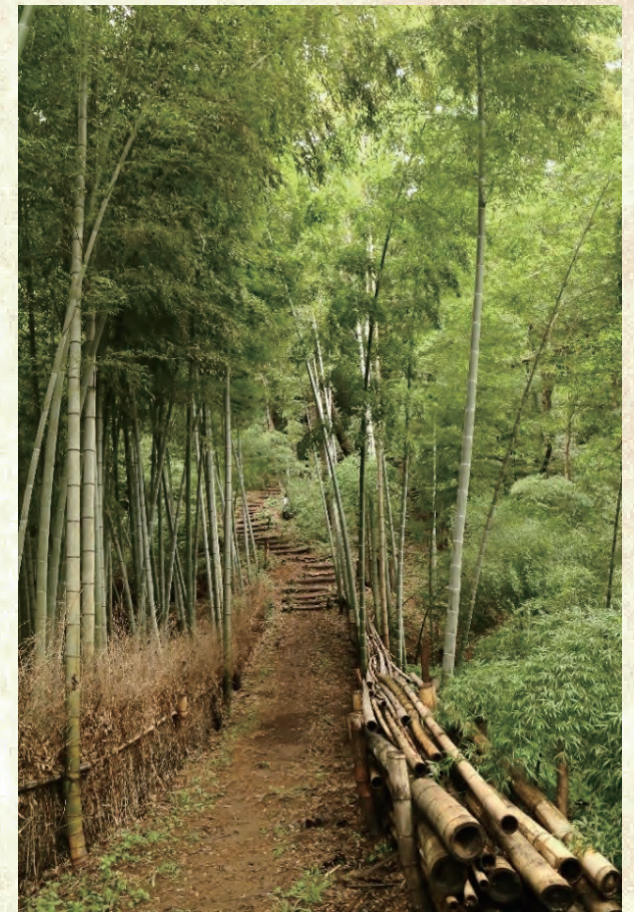
《交通・バス》
町田バスセンター12番のりば発
(多摩丘陵病院行)
⇒25分乗車 / 扇橋下車

① 里の秋：稲刈り後のわらぼっち※と、もみ殻の燻炭づくり^{くんたん}

※わらぼっち：わらを屋外で一時的に保存する設備



② 開墾でよみがえった田んぼの水面がキラキラと…
みなも



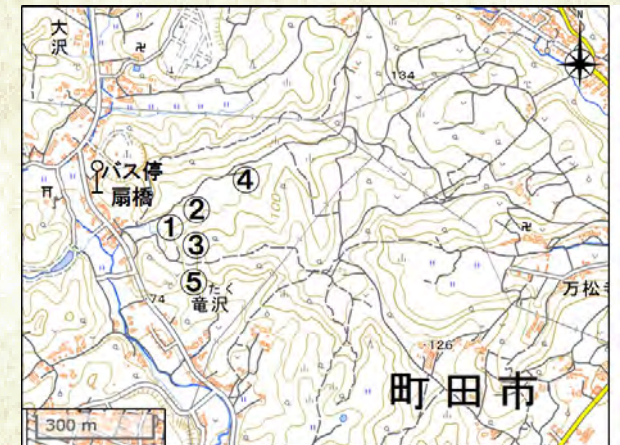
⑤ 涼しげな竹林の散策路



③ 実りの秋：稲穂の波が美しい



④ 早春の芽吹きと菜の花



位置図



① 町田市内での富士山ビューは、ここの尾根緑道からが最高だ。お勧めのビューポイントである。

※フィトンチッド：樹木が発散する清気物質で、人間をリラックスさせる効果もあり、森林浴により、癒し・安らぎを得ることができます。

鶴川台尾根緑道 (真光寺町)

美しい芝生公園、鎌倉古道
ハヤノ道と富士山ビュー

周囲に原生林をそのまま残した広い芝生公園。お母さんに見守られた幼い子供たちが走り回っています。

てんがい
緑の天蓋の尾根道を行くと小鳥のさえずりが嬉しくフィトンチッド※も一杯浴びられる一方、ここは鎌倉時代の古道跡で、その名残りが感じられます。

突然緑が途切れて風景が一変。展望が開け、空が澄んでいるときには、市街地の向こうに富士山の絶景が……。

足を延ばして、その昔^{おおくにたま}大国魂神社に農産物^{いいもり}を奉納していた飯守神社と^{しるもり}汁守神社（川崎市黒川）が今も鎮座していて、農産物生産地は湧水と共に現代にも受け継がれています。

《交通・バス》

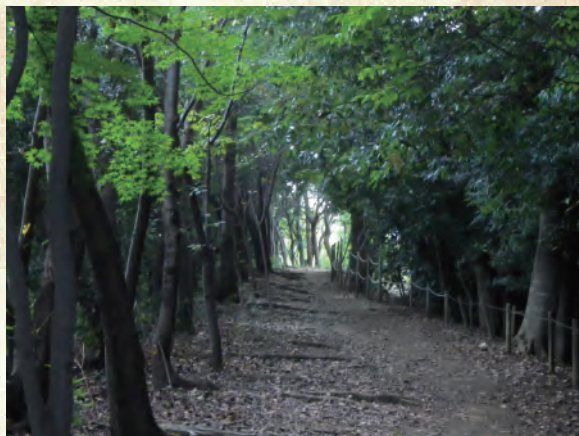
鶴川駅北口4番のりば発（真光寺公園行）
⇒10分乗車／終点下車



② 広い芝生でのんびり過ごせる真光寺公園



③ 飯守神社



④ 尾根緑道（鎌倉古道ハヤノ道）



⑤ 尾根緑道（鎌倉古道ハヤノ道）



位置図



神社仏閣・遺跡と緑豊かな散歩道

三輪は、神社仏閣や古墳時代の横穴墓^{おうけつぼぐん}群など遺跡が多く存在します。

一方、妙福寺から南方面には、四季折々の花々や紅葉が美しい緑地地帯が広がり、幾筋もの散策路があります。

鶴見川クリーンセンター脇の南谷戸に入るとポツカリと田や栗林風景が現れます。

妙福寺から南に向かうと町田市内最大の山谷戸^{さんやと}の切通しに入ります。ここを抜けると寺家ふるさと村（横浜市青葉区）で食事処もあり、三輪散策には、このルートを加えるのも一考です。

《交通・バス》

鶴川駅北口 4 番のりば発

（鶴川女子短期大学行）

⇒10 分乗車 / 終点または妙福寺前下車

① 町田市内には多くの切り通しがあるが、ここ山谷戸の切り通しは最大だ。